



地域の公共交通は、地域の経済社会活動の基盤として大きな役割を担っており、高齢者・通学者等の移動手段の確保を担うものとして、また、環境に優しい輸送機関として、その重要性はますます高まっています。

地域公共交通の活性化・再生を図るためには、関係者が一体となって、その地域にとって最適あり方を検討し、取組、支えていくことが必要です。

このため、地域公共交通活性化・再生について、国による取組みの紹介他、九州内外の様々な先進的取組みや、その考え方について情報発信・共有することにより、多くの地域で、地域の多様な関係者が支え、その地域にふさわしい地域公共交通の構築に向けた取組みを促進することを目的として、シンポジウムを開催するものです。

今回は、特にまちづくりや観光振興策と地域公共交通との効果的な連携を考えるために参考となる取組みを多くご紹介いたします。

Program

- 13:30~ 受付開始
- 14:00~ 開会・主催者挨拶【玉木良知(九州運輸局長)】
- 14:05~ **基調講演**
「コンパクトなまちづくりと一体となった公共交通活性化の取組み」
高森 長仁 氏(富山県富山市都市整備部都市政策課参事)
- 15:00~ **国による支援制度等の紹介**
「国の施策の動きについて」
城福 健陽 (国土交通省総合政策局公共交通政策部交通支援課長)
- 15:25~ 休憩
- 15:40~ **取組み事例紹介とディスカッション**
 - コーディネーター・アドバイザー
渡邊 千賀恵 氏(東海大学大学院産業工学研究科教授)
 - 鉄道+バスが一体となった新幹線からの観光ルート形成
～沿道等における鉄道+バスを組み合わせた観光ルート形成などの取組みについて
松元 卓 氏(九州旅客鉄道㈱ 営業部担当部長)
 - 観光地から見た公共交通との連携方策
～阿蘇地域における定期観光バス、コミュニティバスの活用、鉄道と連携したフリー切符作成等様々な取組みの総合的展開について
坂元 英俊 氏(阿蘇地域振興デザインセンター事務局長)
 - 肥前おれんじ鉄道のサイパバル
～新しい観光地として暮らすために
古木 圭介 氏(肥前おれんじ鉄道㈱ 代表取締役社長)
 - 旅客船による新幹線駅からの横断の強化
～船+バスによる熊本→船着方面へのアクセス強化の取組みについて
井手 雅夫 氏(九州旅客船協会連合会副会長(熊本フェリー㈱ 取締役))
- 17:10~ 閉会挨拶【安藤 昇(九州運輸局次長)】
- 17:15 閉会

Profile

● 基調講演



高森 長仁 氏
富山県富山市
都市整備部都市政策課
参事

1958年富山県生まれ。1982年富山市役所入所。2004年からは交通政策を担当し、公共交通活性化計画の策定、LRTの整備、JR線の活性化社会実験、コミュニティバスの再編などに取り組んできました。2011年現職に就き「公共交通を軸としたコンパクトなまちづくり」を推進するため、交通施策と一体となった土地利用計画や都市景観の形成などに取り組んでいる。

● 国による支援制度等の紹介



城福 健陽
国土交通省総合政策局
公共交通政策部交通支援
課長

1963年大阪府生まれ。1988年運輸省入省。航空局、鉄道局、国土交通省中国運輸局交通環境部長などを歴任し、2006年から総合政策局交通計画課地域振興企画官、同課室長として、地域公共交通活性化・再生法、地域公共交通活性化・再生総合事業の創設を担当。その後、経済産業省観光・集客サービス担当参事官を経て、2010年7月より、国土交通省総合政策局参事官として、地域公共交通確保維持改善事業の創設を担当。2011年7月より現職。

● 取組み事例紹介とディスカッション

○ コーディネーター・アドバイザー



渡邊 千賀恵 氏
東海大学大学院
産業工学研究科教授

1946年愛知県生まれ。名古屋大学大学院修士課程を修了し、大阪大学助手などを経て、1991年から東海大学熊本キャンパス(旧:九州東海大学)の教授。工学博士。専門は「交通計画」と「観光振興」。著書に「自転車とまちづくり」「観光まちおこしに成功する秘訣」などがある。国有財産九州地方審議会(委員)、九州運輸局交通アドバイザー会議(座長)、熊本県都市計画審議会(会長)などを歴任。

○ 事例紹介・パネリスト



松元 卓 氏
九州旅客鉄道㈱
営業部担当部長

1956年鹿児島県生まれ。1980年日本国有鉄道入社。2002年営業部営業課副課長、2004年営業部販売二課長を歴任し、2008年3月から営業部担当部長として九州新幹線全線開業に向けた観光開発、宣伝展開及び旅行社との連携等の担当として取り組む。2011年6月現職に就き、ダイヤ・運賃料金・割引きっぷ・設備の担当として取り組んでいる。



古木 圭介 氏
肥前おれんじ鉄道㈱
代表取締役社長

1943年1月生まれ。大学卒業後海外旅行事業のグローバルユースビューロー(株)に入社。その後、出向でゴルフ場新設事業、第三セクターのホテル再建事業に従事し4年目で単年度黒字化。2009年7月肥前おれんじ鉄道㈱の社長に就任。ボランティア活動で霧島国際音楽祭の立上から支援活動まで32年間にわたり参加し地域づくりと観光をテーマに現在も活動している。



坂元 英俊 氏
阿蘇地域振興
デザインセンター事務局長

自然や歴史・文化、農村や商店街を地域で楽しむ阿蘇カルデラツーリズムと広域的な公共交通網を組み合わせた「スローな阿蘇づくり」を推進し、熊本県、阿蘇市町村、団体、民間の人々と滞在交流型観光のしくみづくりを行っている。2011年3月の九州新幹線鹿児島ルート開業時から1年間は、地域を「バリエーション」にみだて、日常的な滞在ツーリズムのスタートとして「阿蘇ゆるっと博」を開催。平成13年10月から現職。



井手 雅夫 氏
九州旅客船協会連合会
副会長
(熊本フェリー㈱ 取締役)

1957年熊本県生まれ。熊本県「新幹線くまもと創り」横軸交通アクセス強化推進協議会の会長、熊本旅客船協会の会長、九州旅客船協会連合会の副会長として、九州新幹線の縦軸と連携した横軸構築のため、公共交通機関による2次・3次アクセスの整備・強化を目指すに伴い、海上交通(フェリー)の高速化を図る事で、海上と陸上交通における人流のモーダルシフトを推進しながら、新たな交通体系の構築にも取り組んでいる。